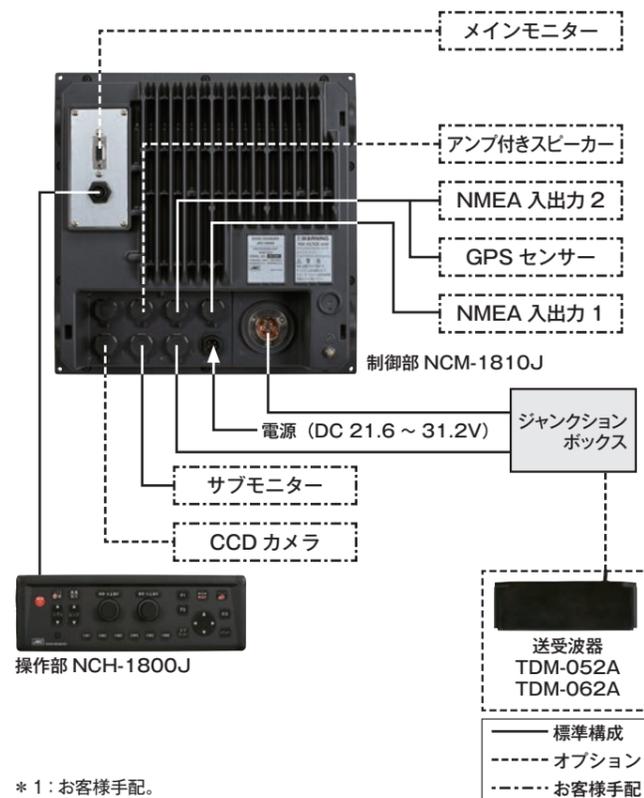


仕様

型名	JFC-180BB
制御部	NCM-1810
操作部	NCH-1800
送受波器 (送信周波数)	TDM-052A (38~75kHzおよび130~210kHz) TDM-062A (38~75kHzおよび85~135kHz)
送信周波数可変幅	24~240kHz 0.1kHzステップ
送信方式	同時送信・交互送信
表示部タイプ	ブラックボックスタイプ (1024×768ピクセル (XGA) 表示が できるモニター*1をご用意ください)
レンジ	1~3000m、1~2000ヒロ (任意に8個設定可能)
拡大レンジ	1~260m、1~180ヒロ
測深単位	m、ヒロ、ft、fm、l.fm
表示モード	高周波、低周波、1~4周波、拡大映像 (海底固定拡大、海底底 質拡大、海底部分拡大、部分拡大、海底追尾拡大)、Nav画面、 左右分割、上下分割、合成 Aスコープは上記全てのモードに追加可能
表示色	64色、16色、8色、モノクロ
背景色	青、紺、濃紺、黒、白、夜間色、その他4色
警報	海底、魚群、水温*2、船速*3、到着*4、コースずれ*4
映像送り速度	9速+停止
その他機能	干渉除去、色消し、VRM、雑音抑圧、ホワイトライン、吃水補 正、水温補正、船速補正、画像記憶 (500面)、ソナートーン、ホー ミング機能、イベント記憶、簡易プロッター、パネル照明、送信 出力低減、外部トリガ、探知範囲表示、CMキー、水温グラフ表 示、画面個別レンジ、外部メモリ書き込み・読み出し (SDカード・ USBメモリ)、ヒービング補正
オート機能	レンジ、シフト、TVG、送信出力、ホワイトライン
言語	日本語、中国語、英語、フランス語、ギリシャ語、イタリア語、韓 国語、スペイン語、タイ語
入力データおよび センテンス	NMEA0183 Ver.1.5/2.0/3.0 GGA、GLL、HDT、MTW、MWV、RMC、VHW、VTG、ZDA
出力データおよび センテンス	NMEA 0183 Ver.2.0 (DBTのみVer.1.5) DBT、DPT、GGA、GLL、HDT、MTW、MWV、RMC、TLL、 VHW、VTG、ZDA
NMEA入出力ポート数	2
電圧範囲	DC21.6~31.2V
消費電力	50W以下 (DC24V)
環境条件	使用温度範囲: -15~+55℃ 防水性能: IPX5 (操作部)

系統図



- * 1 : お客様手配。
- * 2 : 送受信機内蔵の水温センサー、外部水温機器を接続。
- * 3 : 速度センサーか GPS センサーを接続。
- * 4 : GPS センサーを接続。

外形寸法図



※外観・仕様などは、予告なく変更することがあります。

注意 正しく安全にお使いいただくため、ご使用の
前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

JRC 日本無線株式会社

JRCウェブサイト <http://www.jrc.co.jp/>
本社事務所 〒164-8570 東京都中野区中野4-10-1 中野セントラルパークイースト
海上機器営業部 ☎(03) 6832-1807 (ダイヤルイン)

北海道支社 〒060-0003 札幌市中央区北3条西7-1 北海道水産ビル ☎(011) 261-8339 (直通)
東北支社 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-4-1 アゼリアビル ☎(022) 781-6173 (直通)
関東支社 〒164-8570 東京都中野区中野4-10-1 中野セントラルパークイースト ☎(03) 6832-1751 (代表)
中部支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-21-25 清風ビル ☎(052) 959-5901 (代表)
関西支社 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田3-4-5 毎日インテシオ ☎(06) 6344-1633 (直通)
九州支社 〒812-0025 福岡市博多区店屋町1-31 博多アーバンスクエア ☎(092) 262-2141 (直通)

稚内 釧路 函館 青森 八戸 秋田 盛岡 福島 新潟 長野 さいたま 横浜
静岡 焼津 金沢 福井 岐阜 神戸 松江 広島 境港 山口 高松 高知
徳島 松山 長崎 佐賀 大分 熊本 宮崎 鹿児島 那覇 シアトル ニューヨーク
アムステルダム アテネ マニラ 台北 ハノイ ジャカルタ 上海 リオデジャネイロ

47JM ISO9001, ISO14001 認証取得
2016年12月作成 © 2016.6 CAT.No.G168 (No.468-2-2) D

ブラックボックス型魚群探知機 JFC-180BB

JRC

2つの帯域内から任意の4周波が設定できる4周波デジタル魚探

- 2種類の送受波器により、最適な周波数で探知可能
- 他魚探との干渉も、船上での周波数調整によって容易に回避
- デジタル信号処理により、浅場での高分解能と深場での低ノイズを両立
- 全設定を瞬時に呼び出すことができるCMキーを6つ用意
- お好きなモニター (XGA対応) をRGBで接続可能

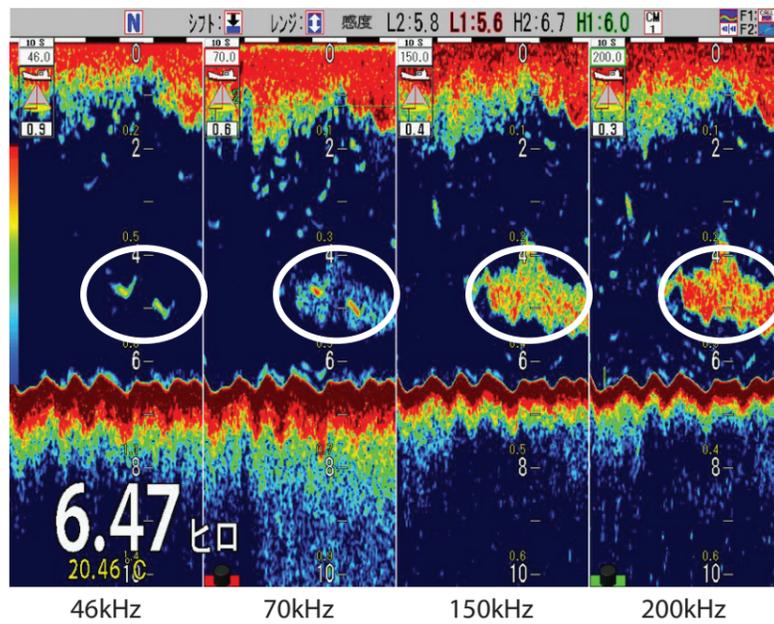
JRC 日本無線

JFC-180BB

特長

任意の4周波を選択

JFC-180BBは、送受波器の周波数範囲から任意の4周波を選択して同時表示できるブラックボックス型魚群探知機です。0.1kHzステップで周波数を設定できるので、ユーザーは他の魚探との干渉も容易に回避できます。

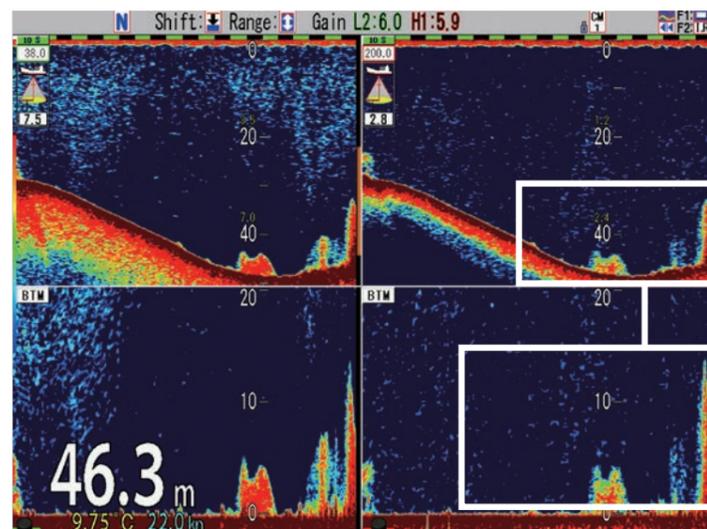


低周波
38~75kHz

高周波
130~210kHz

拡大縮小

ユーザーは任意の範囲で海底映像を拡大することができます。映像拡大を設定後、拡大前の画像は画面上に、拡大後の画像は画面下に表示されます。例では、海底と水深を表示しており、トロール船に便利な機能です。



JFC-180BB

操作

全設定を呼び出せるCMキー

CM1	低周波2	低周波1	高周波2	高周波1
普通映像表示	普通	普通	普通	普通
	OFF	合成	合成	OFF
周波数	38.0kHz	75.0kHz	130.0kHz	200.0kHz
パルス種	短	短	短	短
	中	中	中	中
	長	長	長	長
周波数帯域幅	固定	固定	固定	固定
	狭	狭	狭	狭
	広	広	広	広
拡大表示	OFF	OFF	OFF	OFF
	海底固定拡大	海底固定拡大	海底固定拡大	海底固定拡大
	海底底質拡大	海底底質拡大	海底底質拡大	海底底質拡大
	部分拡大	部分拡大	部分拡大	部分拡大
	海底部分拡大	海底部分拡大	海底部分拡大	海底部分拡大
	海底追尾拡大	海底追尾拡大	海底追尾拡大	海底追尾拡大
感度	個別	個別	個別	個別
	連動	連動	連動	連動

CM (Condition Memory) キーを使用すると、全設定を瞬時に呼び出すことができます。同時に最大4つの異なる周波数に対して、それぞれエコー表示、パルス長、帯域幅、ズーム表示、ゲインの設定をすることができます。レンジ、シフト、利得、送信出力、ホワイトラインの設定はオートを選択すれば、状況に合わせて設定値が自動的に選択・更新されます。

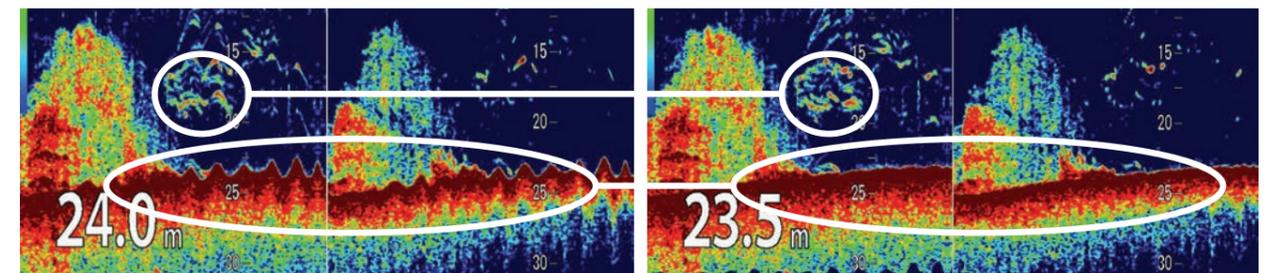
専用操作部

操作部は、カラーバックライト付きで、簡単でわかりやすい設計です。キーボードにUSBポートとSDカードスロットを設置、画像(スクリーンショット)、ウェイポイント、各種設定値をバックアップできます。



ヒービング機能

JFC-180BBは船の上下の動きを外部入力により補正する機能を標準で搭載しています。*1 このヒービング補正機能は、魚のエコーの深さ表示、海底映像を補正することができるため、高波の際に特に効果を発揮します。



*1 : GPSコンパスを接続。